

かなぶさ

南相馬市立金房小学校長 遠藤 俊一

【教育目標】 ◇進んで学ぶ子ども ◇思いやりのある子ども ◇健康な子ども
 【重点目標】 ……進んで 取り組もう……

芸術鑑賞教室

□ 6月12日（木）第1～3学年 鑑賞教室

6月12日（木）鹿島小学校体育館において南相馬市文化スポーツ課主催の「芸術鑑賞教室」が開催されました。小高4校は下学年（1～3年）全児童が鑑賞しました。音楽が流れる場面では自然と手拍子がわいたり身体を動かしたりと人形劇に思う存分浸って楽しみました。



【感想（第2学年）】

- 音楽がすごいむずかしそうだったけど、じょうずにできてすごいと思いました。ズッコケ三人組がけんかをしたけど、ゆうきをあわせていいと思いました。
- えどじだいにタイムスリップしたのがおもしろかったです。音楽もすてきでした。
- 学校のかがみで三人組がくるくるまわるときの音がこわくて耳をふさいでしまいました。でもかえてきたのでほっとしました。



6月16日（月）南相馬市民文化会館「ゆめはっと」において上学年（4～6年）対象の芸術鑑賞教室が開催されました。今回は、「東京演劇集団風」による『ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち』という感動的な演劇でした。

幼少期の病がもとで視覚、聴覚、言語に障害を持つヘレン・ケラー、そして彼女に「言葉」を発見させ、彼女の新しい世界を切り開いた家庭教師アニー・サリバン。孤絶した暗闇の世界から解放されたヘレンは、アニーとの二人三脚によって大学へと進み、必死の猛勉強で博士号を受け、一生を通じて同じような苦しみを抱えた人々、弱者の支援に手を差し伸べ続けます。このヘレン・ケラーとアニー・サリバンの物語は「奇跡」の物語として、世界中の人々に親しまれ、数多く上演も試みられている作品です。子どもたちは、舞台に引き込まれるように鑑賞していました。

この演劇を通して、作者は、三重苦を乗り越えたヘレン・ケラーの偉大さだけに集約されるものではなく、本来の偉大さは、アニー・サリバンとの間に生まれた通じ合う心の波を、家族や知人に伝え、その波を世界中の人々に広げていったことにあると述べております。

素晴らしい施設で鑑賞できたことは、日常の学校生活の中で潤いをもたらしてくれました。来年度もこのような芸術鑑賞教室を計画していきたいと思えます。



※画像、写真の一部は、劇団ホームページ、パンフレットから引用しました。

😊😊😊😊😊 一人ひとりの笑顔が輝く金房小学校 😊😊😊😊😊